



15 工事用仮設物  
16 土工  
17 電線  
18 電線本数・管径等  
19 屋外露出配管の仕上げ  
20 露出配管の塗装(付属品含む)  
21 波付硬質合成樹脂管(FEP)  
22 フラッシュプレートの材質  
23 カバープレートの表示  
24 プルボックスの塗装  
25 耐震施工

横内につくことが ※ できる ・できない  
埋め戻し土 ※ 復切土中の良質土 ・ 山砂の類 ( ) ・ 真砂土 ( )  
建設発生土の処理 ・ 横外に搬出し適切に処理 ※ 横内敷きならし ・ 横内の指示する場所に埋積  
本工事は環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。  
EMケーブルで規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。  
通信ケーブルでJCS規格にない対象のケーブルはJCS規格に準じたものとする。  
盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。  
ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。  
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督官の承認を受けて変更してもさしつかえない。  
屋外露出配管(厚膜電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ[めっき付着量 300g/m以上]とする。  
塗装する部分 ・ 屋上 ・ 屋外 ・ 屋下 ・ 機械室 ・ 居室 ( ) ・  
波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。  
◎ 金風製(ステンレス、新金属も含む) ・ 樹脂製  
シール等を貼付し、用途を表示する。  
ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無(無地仕上げ) ・ 有(指定色仕上げ)  
設備機器の固定は、次に示す設計用耐力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。  
1) 機器の据付け及び取付け  
設計用水平地耐力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平地耐力を乗じたものとする。  
設計用標準水平地耐力

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.0	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	1.5	1.5
中間階	機器	1.5	1.0	0.6	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0	1.0
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	0.4
	防振支持の機器	1.5	1.0	0.6	0.6

上層階の定義 2~6階建: 最上階、7~9階建: 上層2階、10~12階建: 上層3階、13階以上: 上層4階  
中間階の定義 地階、1階を除く各層で上層階に該当しないもの  
水槽類には燃料小出槽を含む  
重要機器 ( ・ 配電盤 ・ 非常用発電装置 ・ 交換装置 ・ 直流電源装置 ・ UPS装置 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視制御装置 ・ 通信機舎等 )  
2) 設計用鉛直地耐力は設計用水平地耐力の1/2とし、水平地耐力と同時に働くものとする。  
3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「自然災害対策設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。  
接地抵抗の材料は次に示す。

接地の種類	記号	接地抵抗	接地径
・ 共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>D</sub>	10Ω以下	EB×3連-2組
・ 共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>C</sub> E <sub>D</sub>	10Ω以下	EB×3連-2組
・ A 種	E <sub>A</sub>	10Ω以下	EB×3連-2組
・ B 種	E <sub>B</sub>	Ω以下	EB×2連-2組
・ C 種	E <sub>C</sub>	10Ω以下	EB×3連-2組
・ D 種	E <sub>D</sub>	100Ω以下	EB×1
・ 高圧変圧器	E <sub>LH</sub>	10Ω以下	EB×3連-2組
・ 交換機用	E <sub>t</sub>	Ω以下	EB×3連-1組
・ 通信用	E <sub>At</sub>	10Ω以下	EB×3連-2組
・ 通信用	E <sub>D</sub> 及びE <sub>Ds</sub>	100Ω以下	EB×1
・ 電話引込口の保安器用	E <sub>Lt</sub>	100Ω以下	EB×1
・ 測定用	E <sub>o</sub>	-	EB×1

(注) 接地の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)  
(E<sub>D</sub>, E<sub>Ds</sub>, E<sub>o</sub>, E<sub>Lt</sub>, E<sub>o</sub>の場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする)  
(その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)  
ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛めっきを施したものとす。  
外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは採運、結露防止処理を行う。  
公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による、処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 既有施設の石綿除去等に係る施工業者の選定制度による登録業者を活用するものとする。  
※ 官公署その他への手続は、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。  
・ 施工調査(分析によるアスベスト含有率の調査)を行う。  
分析方法はJISA 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。  
・ アスベスト粉じん濃度測定を行う。  
(測定時期: ) (測定場所: ) (測定点: )  
・ 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。  
・ 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。  
対象箇所( )

30 補修など  
31 はつり  
32 はつり工事における非破壊検査  
33 あと施工アンカー

34 室内空気中の化学物質の濃度測定  
35 火災保険等  
36 鳥取県公共事業環境配慮指針  
37 建築物省エネ法

1 照明器具  
2 一般照明の照度測定  
3 非常用照明の照度測定  
4 照明制御の照度測定等

1) LEDの光色は別図面に指定がある場合を除き下記による。  
LEDの光色 (※ 暖白色 ・ 温白色 ・ 電球色)  
測定結果を監督官に提出する。(測定箇所等は、監督官の指示による。)  
※ 設置した各部屋2箇所以上  
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督官に提出する。なお、測定箇所は監督官の指示による。  
照度測定時期 100%点灯時(※ 夜間 ・ 昼間)  
調光制御点灯時(※ 夜間 ・ 昼間)

2 機器への接続  
※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ・ 別途工事

3 大地抵抗等の測定  
・ 工事着手前に大地抵抗等を測定し、測定表及び接地抵抗測定記録書を監督官に提出する。  
・ 構造体利用接地 ・ A型接地 ・ B型接地

4 変圧器移動車輪  
2 デマンド監視装置  
3 室内照明

7.5kVA以上に取付。  
・ 本工事 ・ 別途工事  
前・後に設置する。

1 変換無停電電源装置(UPS)  
停電復帰時間(分)  
方式( ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式)

1 自家発電装置  
・ ディーゼル発電装置  
・ ガスエンジン発電装置  
・ ガスタービン発電装置  
・ 燃料電池発電装置  
・ 燃料電池発電装置  
運転時間(h) 系統連系( ・ 高圧連系 ・ 高圧受電低圧みなし連系 ・ 低圧連系 ・ 無 )  
出力(kW) 配電盤外箱( ・ 有 ・ 無 )  
保安装置(重故障項目付) ・ 有 ・ 無 外部用端子( ・ 要 ・ 不要 )  
減圧水栓及び初期注水栓の材質( ・ 鋼製 ・ ステンレス鋼板製 )  
オイルタンク( ・ 地下 ・ 屋内 )  
据付: 機械設備工事標準仕様( ・ 施工30, 32 (タンク室無し) ・ 施工31, 33 (タンク室有り) )  
燃料小出槽(注): 運油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。  
材質( ・ 鋼板製 ・ ステンレス製 )  
燃料油等( ・ 灯油 ・ 軽油 ・ 重油 ・ 燃料ガス( ) )  
排気系統配管耐熱材の厚さ( mm) ばい煙測定口( ・ 設ける ・ 設けない )  
排気ガスに含まれる窒素酸化物(以下) 運転音( dB以下)  
系統連系( ・ 高圧連系 ・ 高圧受電低圧みなし連系 ・ 低圧連系 ・ 無 )  
公称最大出力(kW) 耐風速( m/s )  
パワーコンディショナ(相線式 V) 定格容量(kW)  
自立運転機能( ・ 有 ・ 無 )  
表示装置( ・ 有 ・ 無 ) 方式( ※ 液晶 ・ )  
系統連系( ・ 高圧連系 ・ 高圧受電低圧みなし連系 ・ 低圧連系 ・ 無 ) 定格出力(kW)

1 交換装置  
周線対応方式( ・ 周線中継台方式 ・ 分散中継台方式 ・ ダイヤルイン方式 ・ ダイレクトインダイヤル方式 ・ ダイレクトインライン方式 )  
停電復帰時間(分)  
※ 本工事 ・ 別途工事  
※ モジュラージャック ・ 電話用プレート  
内線 / / 回線 高線 / / 回線(現用/実装/容量)  
・ 一般電話機 台 ・ 多機能電話機 台 ・ ファクシミリ 台  
・ デジタルコードレス電話機 台 ・ IP電話機 台

2 太陽光発電装置  
地上電話機1台につき次のものを見込む。  
・ ボタン電話機( ・ EM-BTIEE 0.4-2P ・ ) ( ※ 15m ・ )  
・ 内線電話機( ・ EM-TIEF 0.65-20 ・ TIEF 0.65-20 ) ( ※ 15m ・ )  
・ 多機能電話機( ・ EM-BTIEE 0.4-2P ・ ) ( ※ 15m ・ )  
・ IP電話機( ・ EM-UTP 0.5-4P ・ ) ( ※ 15m ・ )

1 交換装置  
周線対応方式( ・ 周線中継台方式 ・ 分散中継台方式 ・ ダイヤルイン方式 ・ ダイレクトインダイヤル方式 ・ ダイレクトインライン方式 )  
停電復帰時間(分)  
※ 本工事 ・ 別途工事  
※ モジュラージャック ・ 電話用プレート  
内線 / / 回線 高線 / / 回線(現用/実装/容量)  
・ 一般電話機 台 ・ 多機能電話機 台 ・ ファクシミリ 台  
・ デジタルコードレス電話機 台 ・ IP電話機 台

2 太陽光発電装置  
地上電話機1台につき次のものを見込む。  
・ ボタン電話機( ・ EM-BTIEE 0.4-2P ・ ) ( ※ 15m ・ )  
・ 内線電話機( ・ EM-TIEF 0.65-20 ・ TIEF 0.65-20 ) ( ※ 15m ・ )  
・ 多機能電話機( ・ EM-BTIEE 0.4-2P ・ ) ( ※ 15m ・ )  
・ IP電話機( ・ EM-UTP 0.5-4P ・ ) ( ※ 15m ・ )

1 マルチサイン装置  
2 出退表示装置  
3 時刻表示装置

イメージキャナ( ・ 設ける ・ 設けない )  
制御装置( ・ 装置形 ・ 埋込形 ・ 据置形 )  
呼出機能( ・ 有 ・ 無 ) 方式( ・ 発光ダイオード ・ 液晶 ・ )  
時計計( ・ 壁掛形 回線 ・ ラック形 回線 )  
太陽電池式時計計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)

1 プロジェクター  
光出力( ・ I形 ・ II形 ・ III形 ) 解像度( ・ A形 ・ B形 ・ C形 )  
コントラスト比( ・ X形 ・ Y形 )

10 設備  
11 設備  
12 設備  
13 設備  
14 設備  
15 設備  
16 設備  
17 設備  
18 設備  
19 設備  
20 設備  
21 設備  
22 設備  
23 設備  
24 設備  
25 設備  
26 設備

1 増幅器  
形式( ・ 卓上形 ・ ラック形 ) 定格出力( W ) 性能( ・ Hi形 ・ Lo形 )  
・ 増幅器の入出力端子と外部配管(接続ボックス等)の接続はコネクタによる。

1 音声誘導装置  
検出方式( ・ 磁気方式 ・ 無線方式 ・ 画像認識方式 )

1 自動火災報知設備  
2 自動閉鎖設備  
3 ガス漏れ火災警報設備

受信機( ・ 型線回線(据置型) ・ 複合形 ・ 単独形 )  
・ 防火戸用( ※ ラッチ式 ・ 電磁式 )  
・ 防煙ダンパー用( ※ 電動復帰 ・ 手動復帰 )  
・ 防火シャッター用( ※ 別途工事 ・ 本工事 )  
検知器( ・ 天井取付形 ・ 壁取付形 )

1 施工方法  
2 地中箱  
3 高圧負荷開閉器  
4 高圧ケーブルの端部  
5 高圧ケーブルの屋外端部処理  
6 保護シート  
7 照明用ポール

埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は埋深下-300以上とする。  
・ GL-600以上( ・ )  
蓋の記号表示は埋設深さ(鳥取県又は鳥取県、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び蓋はアスファルト舗装用とする。  
・ 閉鎖形( ・ 軽鋼形 ・ 重鋼形 ) ・ 地絡電圧付( ※ 方向性 ・ 無方向性 )  
・ 遮断器内蔵  
※ 別図制御盤までの制御ケーブルを付与する。  
高圧ケーブルの両端部にシースの端部対策(熱縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。  
・ 一般形 ・ 耐塩形  
※ 高圧 ・ 密圧  
照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

1 施工方法  
2 地中箱  
3 保護シート

埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は埋深下-300以上とする。  
・ GL-600以上( ・ )  
蓋の記号表示は埋設深さ(鳥取県又は鳥取県、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び蓋はアスファルト舗装用とする。  
・ データ回線 ・ 電話 ・ CATV ・

1 調査仕様  
2 テレビ電波受信障害調査時期  
3 受信する受信機及び地点数  
4 報告書提出部数

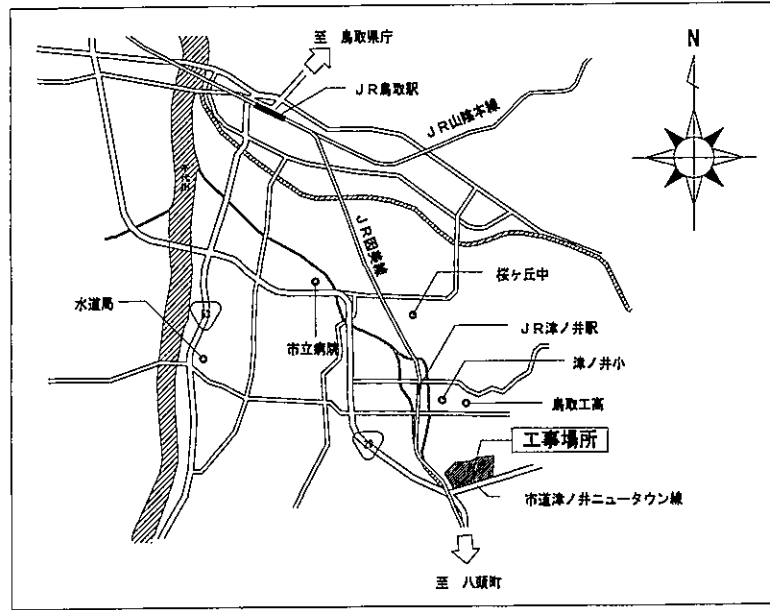
※ 事前 ・ 中間 ・ 事後  
中継局 波: 地点  
中継局 波: 地点  
※ 事前 3部 ・ 中間 部 ・ 事後 3部

1 機器取付高  
機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督官と協議する。

名 称	測 点	取付高(mm)
電力	取引用計器	地上~窓中心 1,800~2,000
電力	引込開閉器	地上~中心 1,800~2,200
電力	分電盤・OA盤・変換盤	床下~中心 1,500(上層1,900以下)
電力	スイッチ	1,300
電力	コンセント(一般)	300
電力	コンセント(和室)	150
電力	コンセント(台所)	150
電力	コンセント(土間)	800~1,300
電力	コンセント(車椅子用)	900
電力	ブラケット(一般)	2,100~2,300
電力	ブラケット(廊下)	2,000~2,500
電力	ブラケット(廊上)	150
電力	監視形制御盤	床下~中心 1,500(上層1,900以下)
電力	手元開閉器	1,500
電力	操作スイッチ	1,300
電力	端子盤	床下~下端 300
電力	保安器箱	天井下~上端 200
電力	壁付アウトレット	床下~中心 300
電力	コンセント(和室)	150
電力	監視形時計	床下~中心 1,500(上層1,900以下)
電力	子時計	1,500
電力	壁掛形スピーカ	床下~中心 天井高×0.9
電力	壁付アッテネータ	1,300

2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

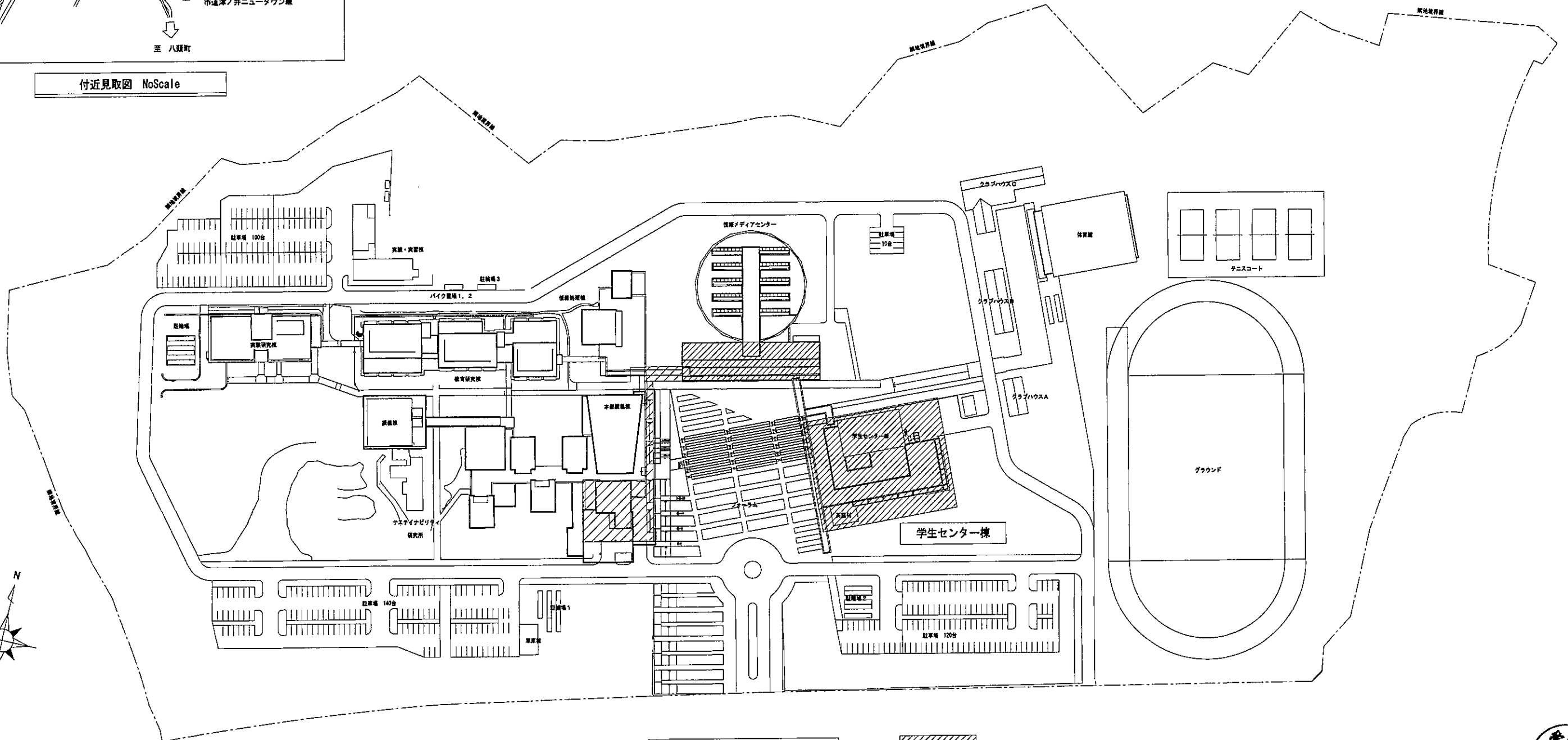
III. 機材  
工事に使用する機材及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。  
ただし、差異は上記による(ほか以下の製造業者とする。  
神永井電機工業所  
小林製電機  
神富士オートメーション  
神田電機製作所



付近見取図 NoScale

工事概要

- 下記に記載の棟について、BEMS用の電力計測設備を設置する。
  - ・情報メディアセンター
  - ・学生センター
  - ・本部講義棟
- 1に伴う配管・配線更新、その他付随する工事。



配置図 S=1/1000

: 対象箇所

受付  
25.2.28  
大日本建設株式会社

1 システム概要

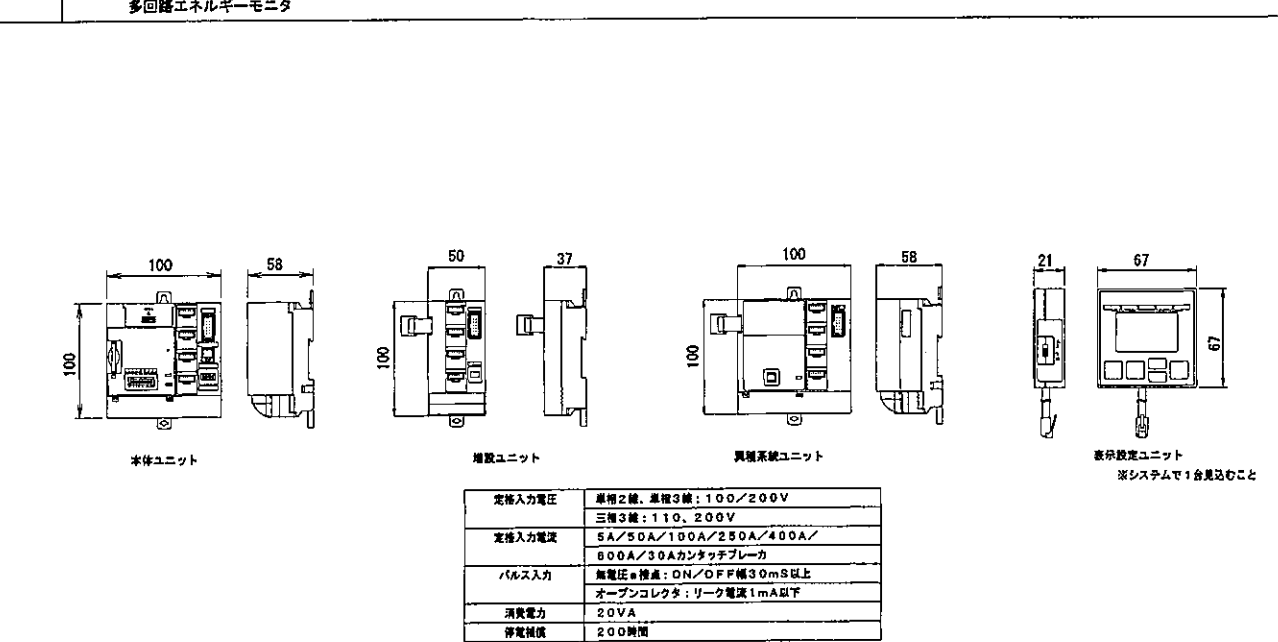
- ・本システムは、多回路エネルギーモニタを設置し、各回路の電力量、電圧等のエネルギー計測を行うものである。
- ・多回路エネルギーモニタは、計測する各回路にCTを取り付け、専用CTケーブルで接続することにより計測を行うものとする。
- ・電源系統の異なる計測ポイントは、本体ユニット又は異種系統ユニットに接続する。
- ・各エネルギーモニタで収集した計測データは、LAN対応ユニットを介して管理サーバに保存することができるものとする。
- また、インターネットに接続されたクライアントPCからも管理サーバにアクセスすることでデータ管理が行えるものとする。
- ・「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」に適用する仕様とする。

2 機能仕様

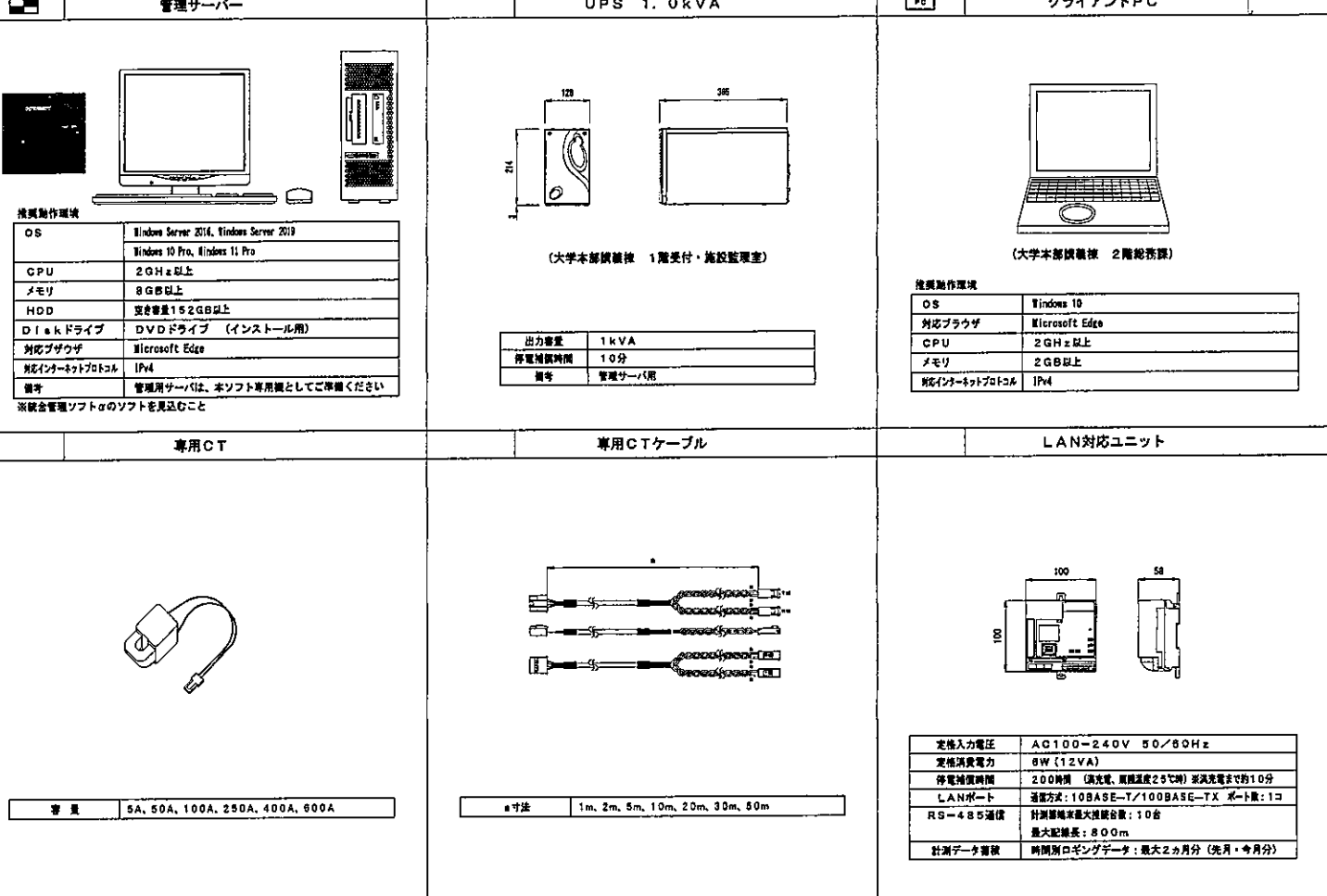
1. 統合管理ソフトα 基本機能
- (1) リアルタイム監視  
電流や電力等の現在状態を表示する。  
(※データ更新時間1分)
- (2) 異常通知  
異常通知は即時発報し、監視画面に表示を行う。
- (3) データ分析  
様々なグラフ表示機能により、異常分析や省エネ分析などをサポートする。
- (4) データ出力  
Web画面から期間やグループを指定して、計測ログをダウンロード(CSV形式)することが可能。
- (5) レポート作成  
日毎、月毎をユーザー単位で作成することができる。
- (6) Web公開  
インターネット上に接続された端末(汎用PC)に、現在の状況や集計情報をWeb公開することが可能。
2. 機能仕様
- (1) ネットワークアダプタ (LAN対応ユニット等)の接続数  
最大接続数: 3台
- (2) 最大管理点数  
回線数: 480点
- (3) 計測・管理項目  
・電圧、電流、電力、力率、換算電力量、パルス量
- (4) データ収集、保存  
LAN対応ユニットのデータ収集間隔とロギング間隔
- | 通信方式 | 収集データ                       | 収集間隔    | ロギング間隔  |
|------|-----------------------------|---------|---------|
| HTTP | 瞬時値(電力、電圧、電流、力率、トータル換算電力量)  | 1、5、10分 | 1、5、10分 |
|      | 計測ログ(電力、電圧、電流、力率、トータル換算電力量) | 1時間     | 1時間     |
|      | 電力量ログ(1時間毎の電力量)             | 1時間、1日  | 1時間     |
- (6) ロケーション管理  
マップの多層化により、詳細情報まで、監視が可能。監視対象の状態変化に伴いアイコンの色やデザインをカスタマイズ可能。

- (6) グループ管理  
計測ポイントをエリアやユーザー毎のグループに分けて管理(5階層)可能なこと。
- (7) ユーザー管理 (認証)  
権限分類: システム管理者、閲覧権限者の各1ユーザー  
閲覧権限者は監視画面を制御することが可能(計測対象単位)
- (8) リアルタイムモニタ (データ更新間隔: 1分)  
アラーム監視: 現在のアラーム状況をモニタリング  
モニタリング: 現在の計測値や状態をモニタリング  
異常デマンドグラフ: 30分間の平均電力を自動グラフ化(現在電力とデマンド終了時刻の予測電力)
- (9) ログ出力  
計測データやアラーム履歴をCSV形式でダウンロード可能
- (10) データ分析 (グラフ化)  
トレンドグラフ、換算電力量グラフ、30分間の平均電力グラフ、グループ比較(ユーザー比較、換算比較)、日付比較、決算
- (11) レポート作成  
ユーザー毎に日報報告書/月次報告書を作成  
報告書の内容をユーザー毎に選択可能(消費電力のグラフと集計(CO2排出換算、原油換算、換算料金換算)、瞬時データの集計(最高値、最小値、平均値)など)
- <エネルギー計測端末>
- (1) 測定可能種別  
単相2線/単相3線/三相3線
- (2) 測定値  
瞬時電力(kW)/換算電力量(kWh)/電圧(V)/電流(A)/力率(%)
- (3) 計測間隔  
最大16段階
- (4) その他機能  
本体ユニット単体で4回路、増設または異種系統ユニット追加ごと4回路追加のこと。
- 自動ロギング: 1ヶ月単位のデータファイルとして「時間別」「日別」「月別」の換算電力量を保存可能とする。またSDメモリーカードにてデータを最大2ヶ月分取出可能とする。
- 詳細ロギング: 1分ごとの瞬時電力・換算電力量・電圧・電流・パルス換算量を計測可能とする。最新1日分のデータを保存のこと。SDメモリーカードにて取出可能とする。

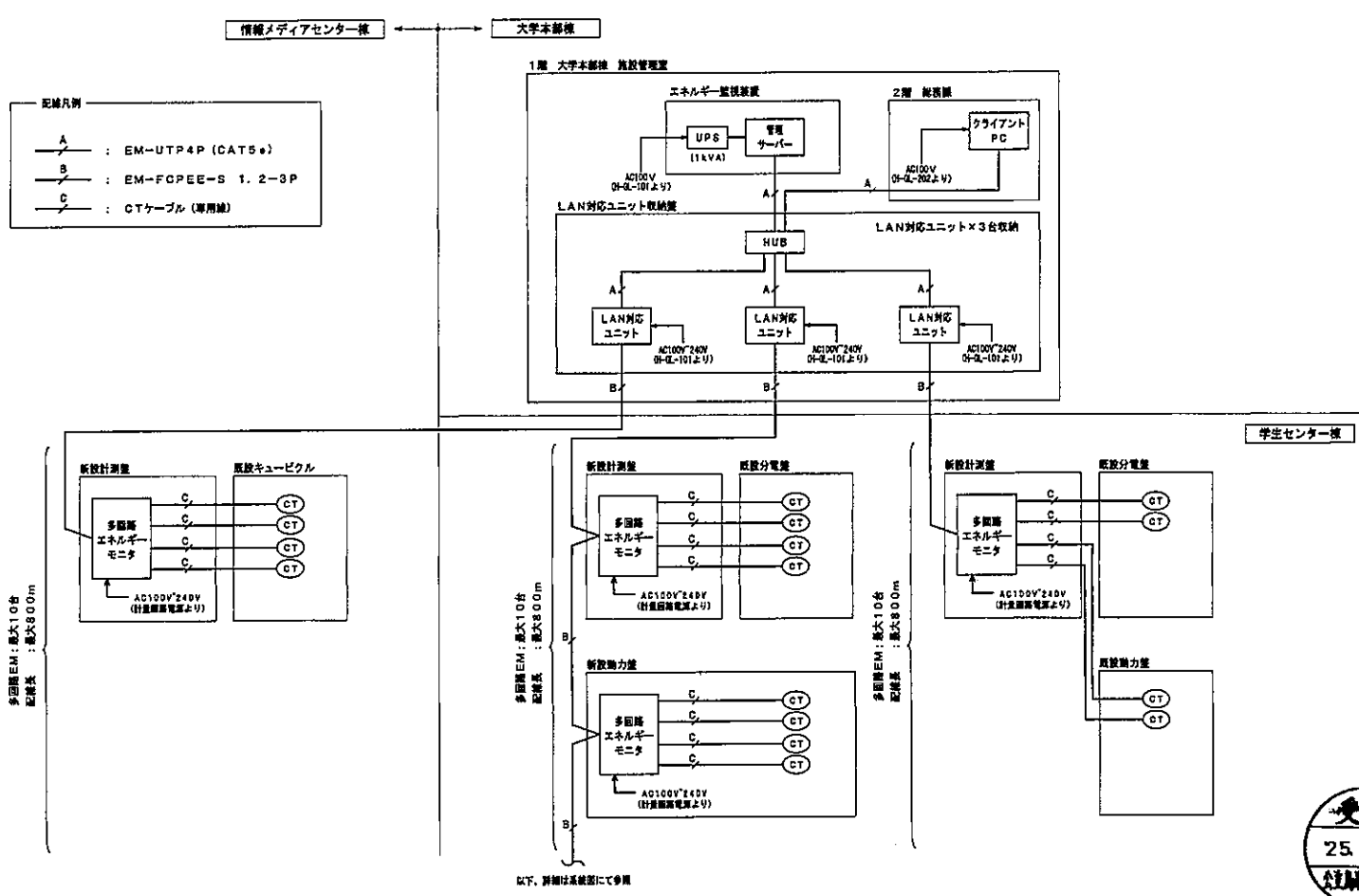
3 参考機器姿図 ※寸法値は参考とする



3 参考機器姿図 ※寸法値は参考とする



4 システムブロック図 (参考図)

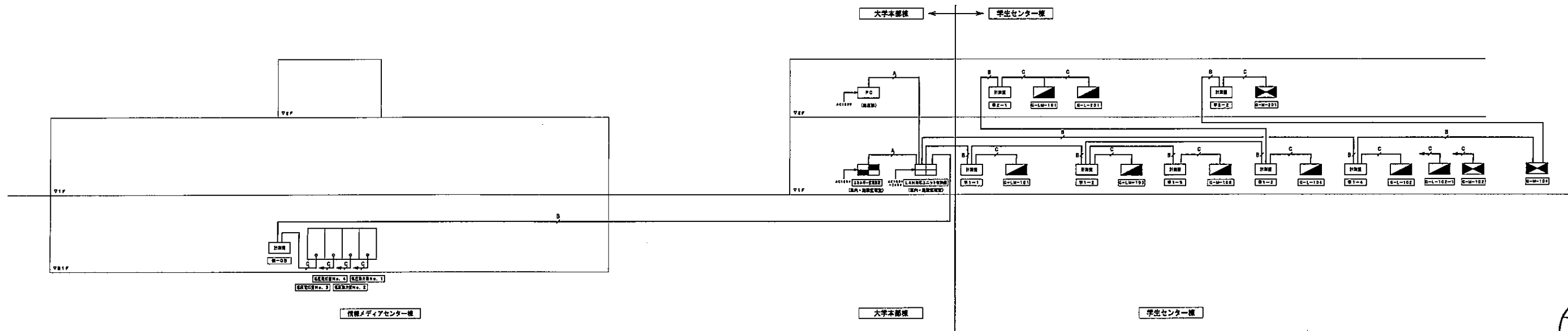


棟名称	LAN対応 ユニット系統 (新設)	計測盤名称 (新設)	計測対象 分電盤名称 (既存)	員数 (新設)								表示設定 ユニット	備考
				本体 ユニット	増設 ユニット	CT				ケーブル			
						50A	100A	250A	400A	10m	30m		
学生センター棟	1	計測盤 学1-1	G-LM-101	2	3	32	2			16		1	
		計測盤 学1-2	G-LM-103	1	2	12				6			
		計測盤 学1-3	G-L-104	1		4				2			
		計測盤 学2-1	G-L-201	2	4	46				24			
	2	計測盤 学1-4	G-L-102	1	3	28				14			
			G-M-102	1		6				3			
		計測盤 学2-2	G-L-102-1	2	3	38				19			
			G-M-201	1	1	4	10			7			
		G-M-104 (新設)	1	2		18			9				
		G-M-105 (新設)	1			4			2				
情報メディア センター棟	3	計測盤 情-QB ※受変電設備計測 地下1階電気室	低圧電灯盤No. 3	1					4	2		1	
			低圧動力盤No. 4	1					2	2			
			低圧動力盤No. 1	1					2	1			
			低圧動力盤No. 2	1	2				10	5			
合計				15	18	170	30		12	100	6	2	

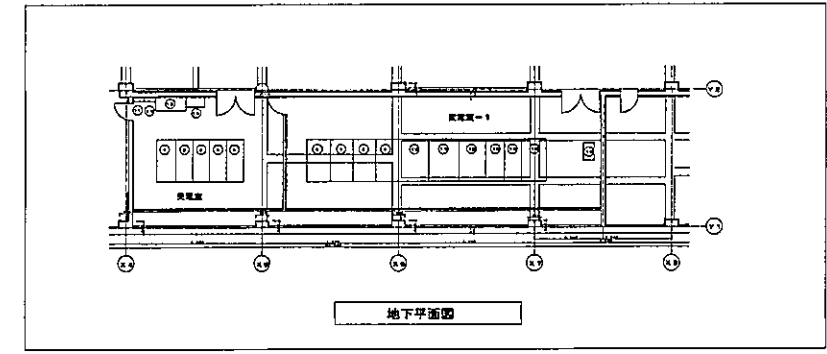
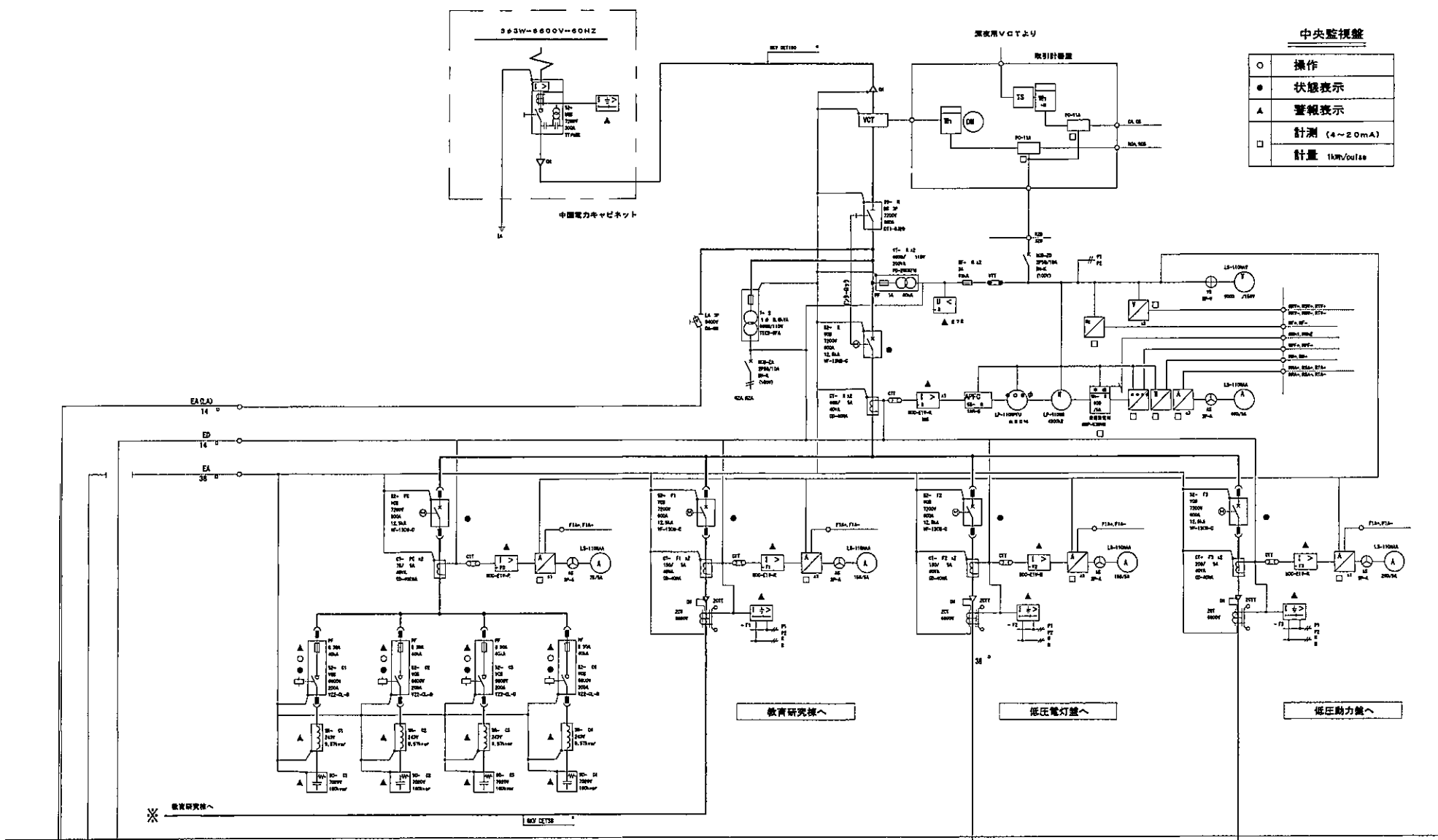
※LAN対応ユニット収納盤および計測盤を見込むこと。

記号	名称	備考
管理サーバー	管理サーバー	
クライアントPC	クライアントPC	
LAN対応ユニット収納盤	LAN対応ユニット収納盤	
計測盤	計測盤	
分電盤	分電盤	
動力盤	動力盤	
分電動力盤	分電動力盤	
受変電・キュービクル	受変電・キュービクル	

記号	線種	備考
EM-UTP4P (CAT5e)	EM-UTP4P (CAT5e)	最大100m
EM-FCPEE 1. 2-3P	EM-FCPEE 1. 2-3P	通信線
CTケーブル (専用線)	CTケーブル (専用線)	制御配線
EM-FCPEE 1. 2-3P	EM-FCPEE 1. 2-3P	多回路電源用



受付  
25.2.28  
会社印



NO	設備名称	備考
1	高圧受電盤	VCTスペース
2	高圧フィーダーNO-1 2段	
3	高圧フィーダーNO-2 2段	
4	高圧コンデンサ盤NO-1 2段	
5	高圧コンデンサ盤NO-2 2段	
6	NO-1電灯盤	
7	NO-2電灯盤	
8	NO-3電灯盤	
9	NO-4電灯盤	
10	NO-1動力盤	
11	NO-2動力盤	
12	非常動力盤	
13	警報受電盤	VCTスペース
14	警報動力盤	440V
15	ソーラー系統電源盤	太陽光発電設備
16	接地端子盤	下部ダクト付
17	蓄電池設備	蓄電池設備
18	DGP盤	中央監視盤
19	WHM盤	スペース

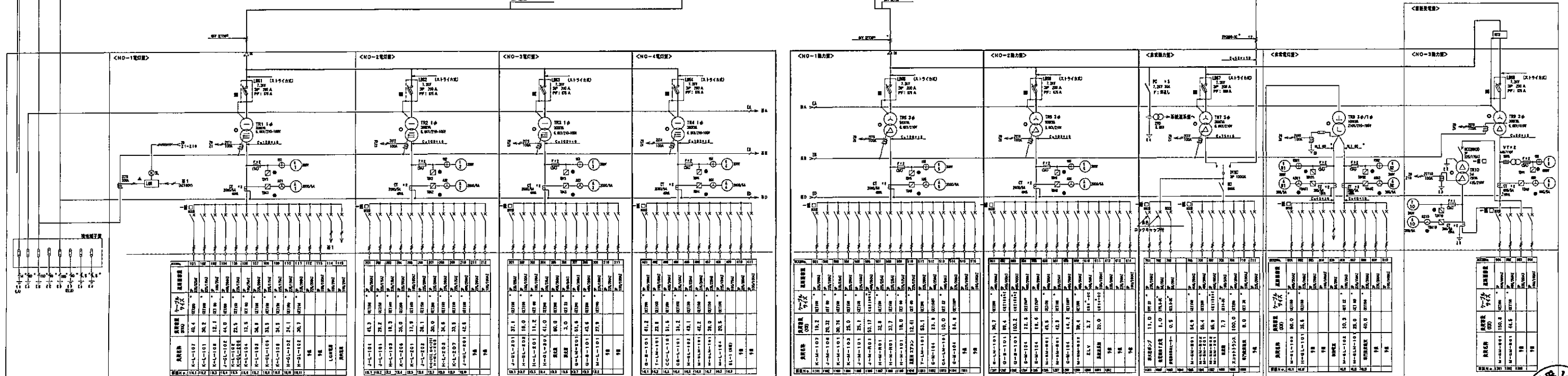
注記

1: 監視盤及び制御の仕様は下記によります。  
 ● 印 電圧警報は監視盤において、異常表示を示します。  
 ● 印 計測用は 計 測を示します。  
 \* 印 しゅ断警報は 状態表示、操作を示します。  
 ■ 印 PFは 電源表示を示します。  
 ○ 印 トランス・リアクトルは 異常表示を示します。  
 △ 印 コンデンサは 異常表示を示します。  
 □ 印 接地は 異常表示を示します。  
 □ 印 は電力会社よりハルス受給中央監視へ表示します。

2: 各計測は広角型とし、電流計は最大値計付とします。

3: 各装置はダイヤル温度計 (電機検出付) 付とし、異常を監視盤に表示します。

4: 機器の設置場所は図面を参照とします。



図面内 □ は、CT取付箇所を示す。

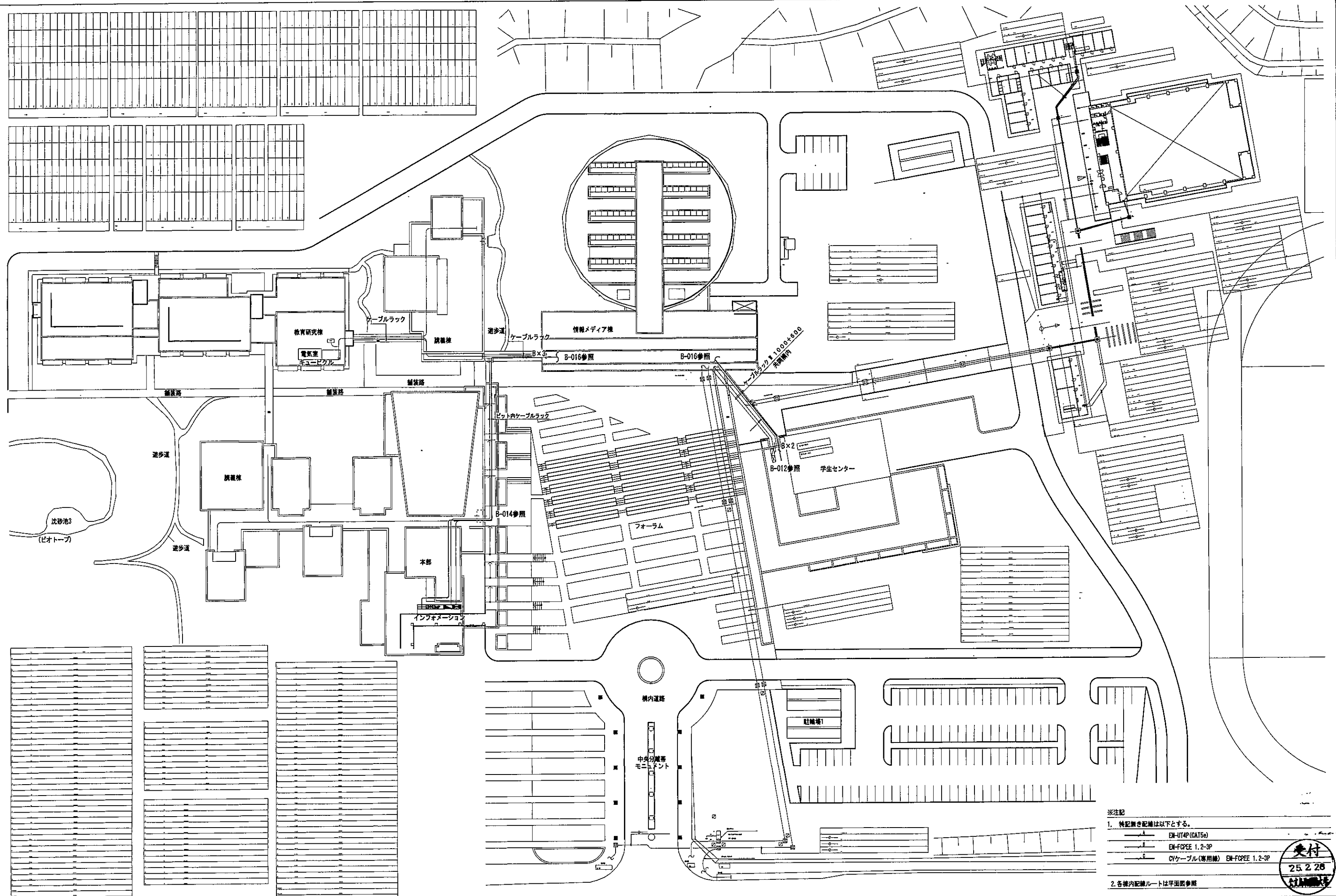
受付  
25.2.28  
社印欄







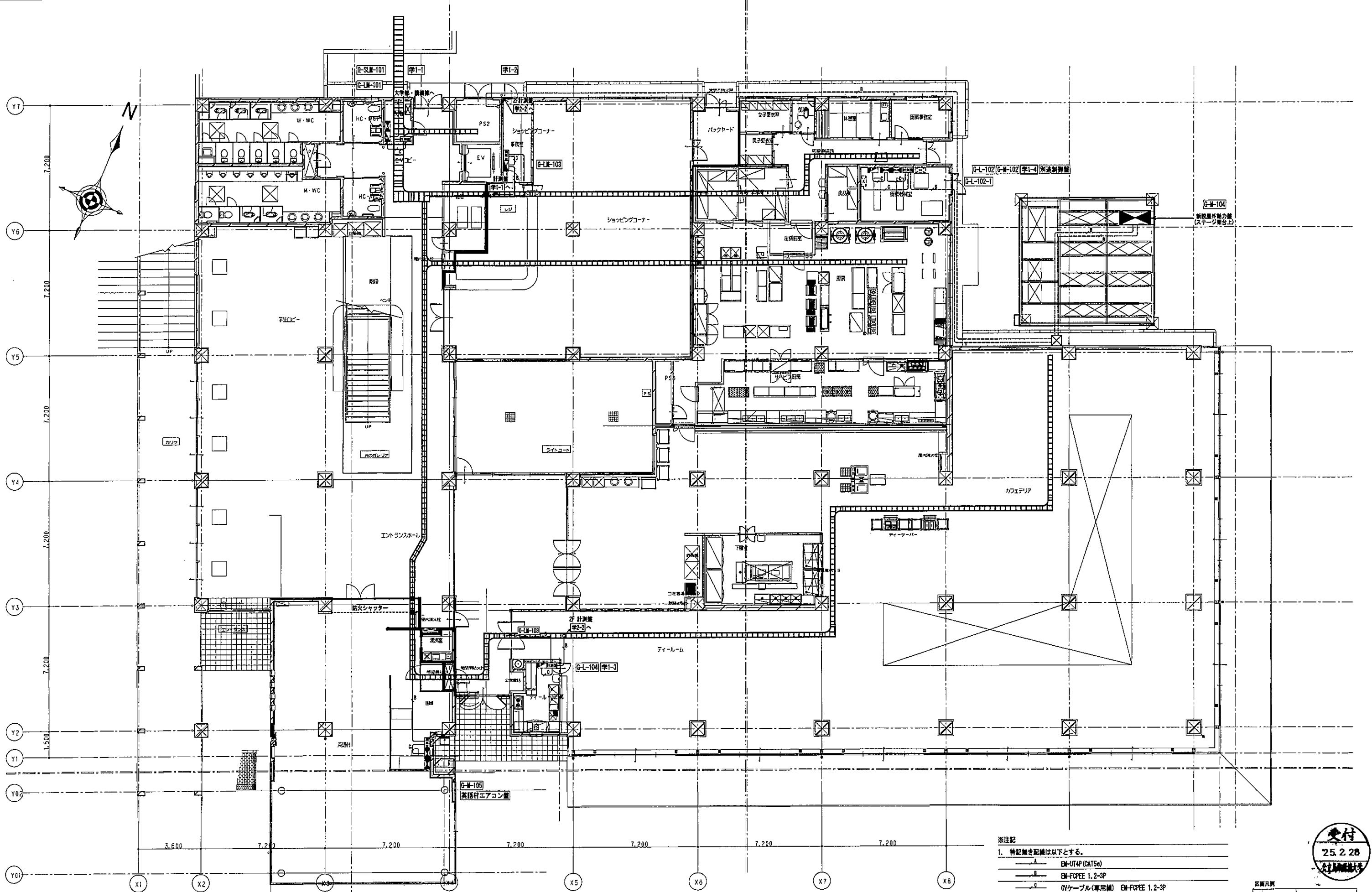
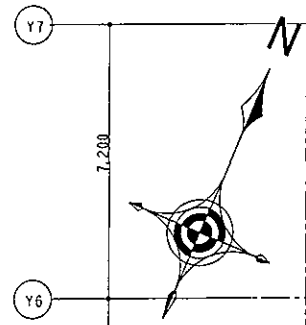




※注記  
 1. 特記無き配線は以下とする。  
 A EM-UTAP (CAT5e)  
 B EM-FCPEE 1.2-3P  
 C CVケーブル(専用線) EM-FCPEE 1.2-3P  
 2. 各棟内配線ルートは平面図参照

受付  
 25.2.28  
 25.2.28

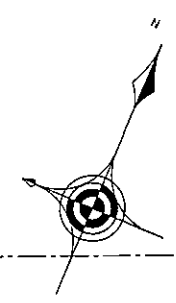
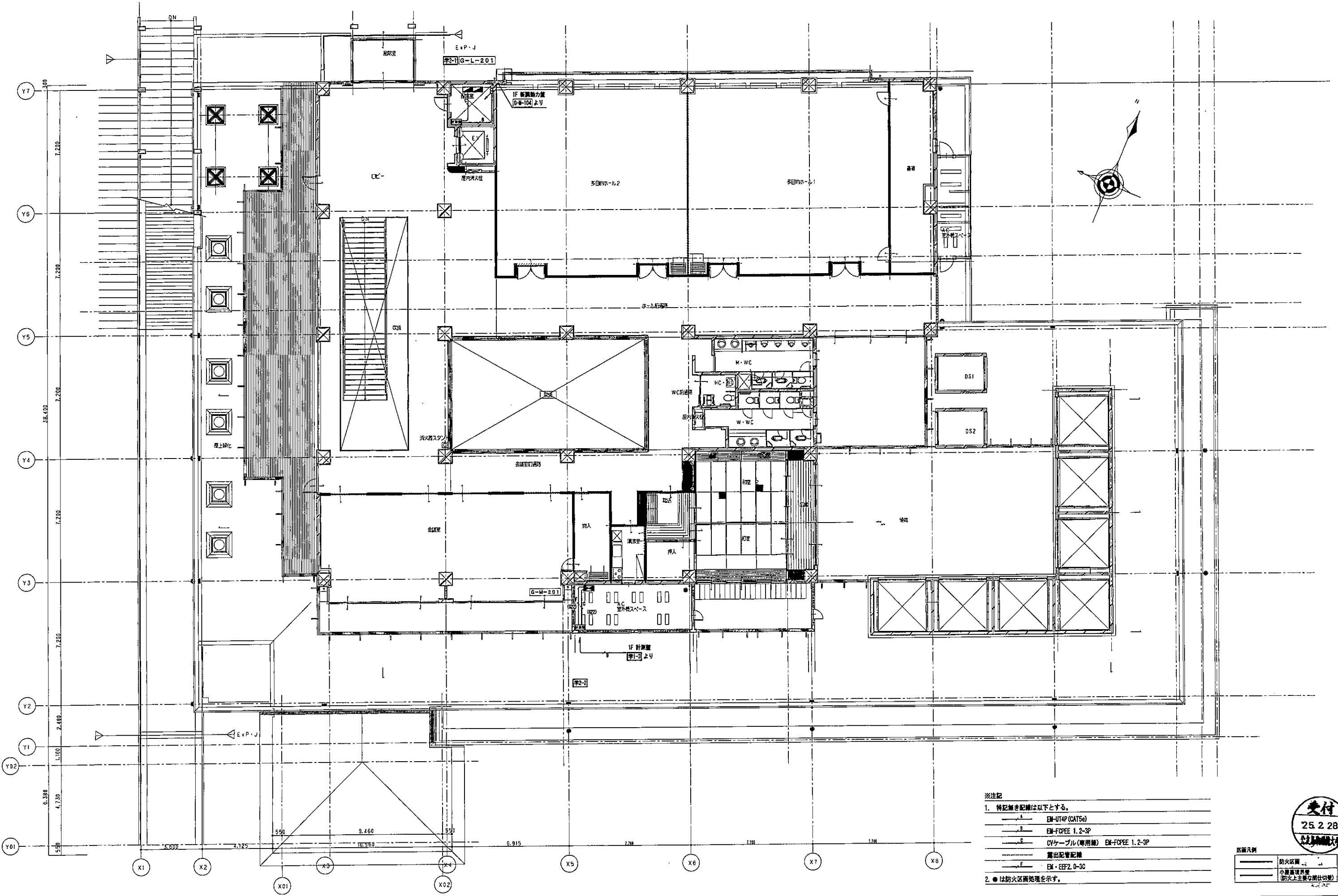
	株式会社 NTTファシリティーズ 一級建築士事務所 中国支店 広島県知事登録22(1)第2404号	一級建築士登録 第271087号 山先 寛作 建築設計士登録 15F1-0007号 山根 英二	担当 岩坂 優一 佐藤 楓華	特記 管理番号 4JS-12-OJP-1	工事名 学生センター棟ZEB化改修工事 (BEMS制御)	図面名 橋内配電線路図	図面番号 B-011	区分 電気
	縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200		年月日 2025年 2月 28日					



※注記  
 1. 特記無き配線は以下とする。  
 A EM-U14P (CAT5e)  
 B EM-FQPEE 1.2-3P  
 C NYケーブル(専用線) EM-FQPEE 1.2-3P  
 D 電出配管配線  
 2. ●は防火区画処理を示す。

区画凡例	
	防火区画
	小規模器具型 (防火上主要な関係切替)

受付  
 25.2.28  
 大付印刷部



- ※注記
- 特記無き記号は以下とする。
    - 1 EM-UTAP (CAT5e)
    - 2 EM-FDPEE 1.2-3P
    - 3 CVケーブル(専用線) EM-FDPEE 1.2-3P
    - 4 露出配管記号
    - 5 EM-EEF2.0-3C
  - は防火区画処理を示す。

区画凡例

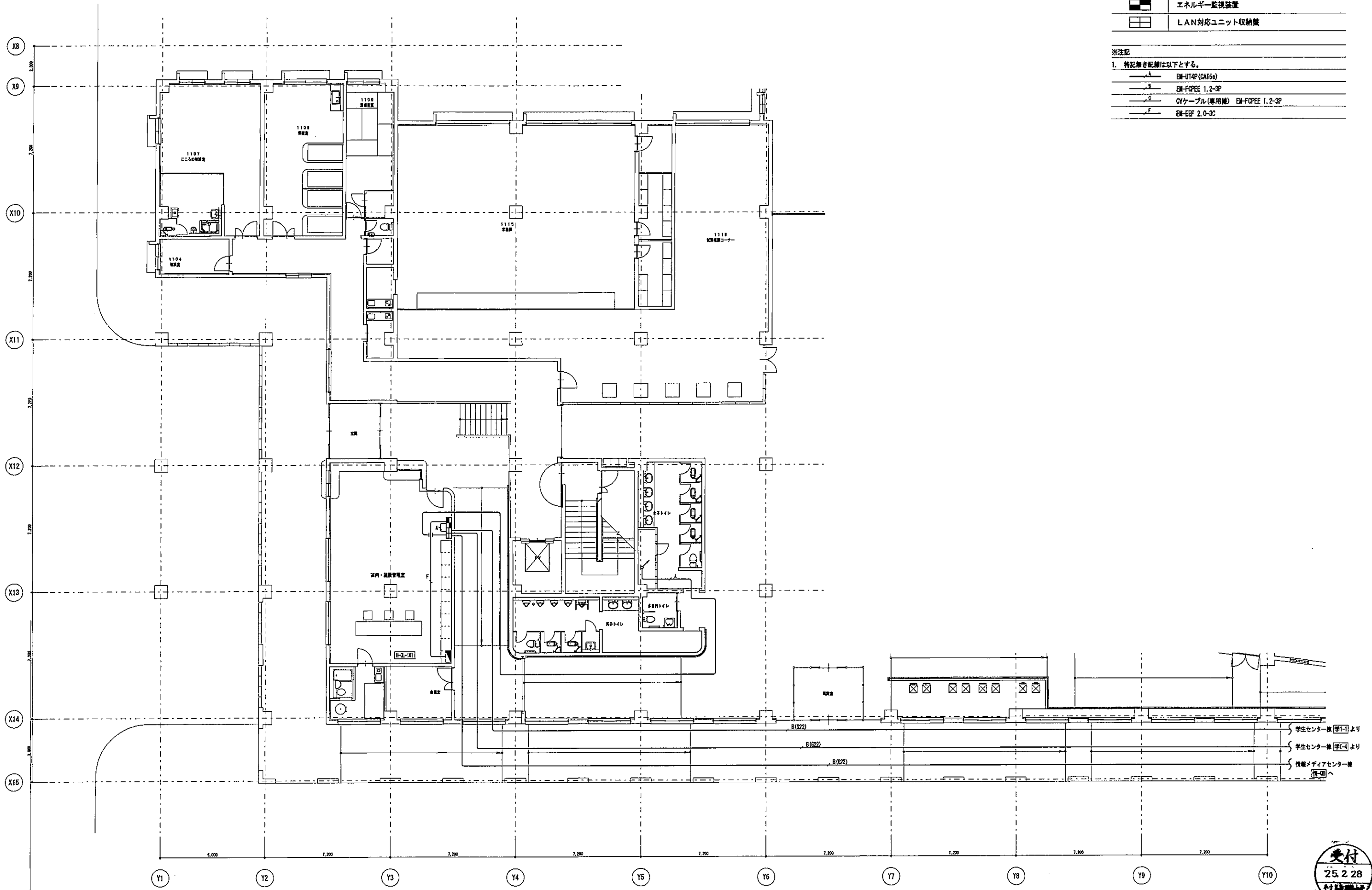
防火区画	●
小規模境界壁 (防火上主要な構造物)	○

交付  
25.2.28

凡例	
	エネルギー監視装置
	LAN対応ユニット収納盤

※注記  
1. 特記無き記号は以下とする。

	EM-UT4P (CAT5e)
	EM-FOPPEE 1.2-3P
	CVケーブル(専用線) EM-FOPPEE 1.2-3P
	EM-EFF 2.0-3C

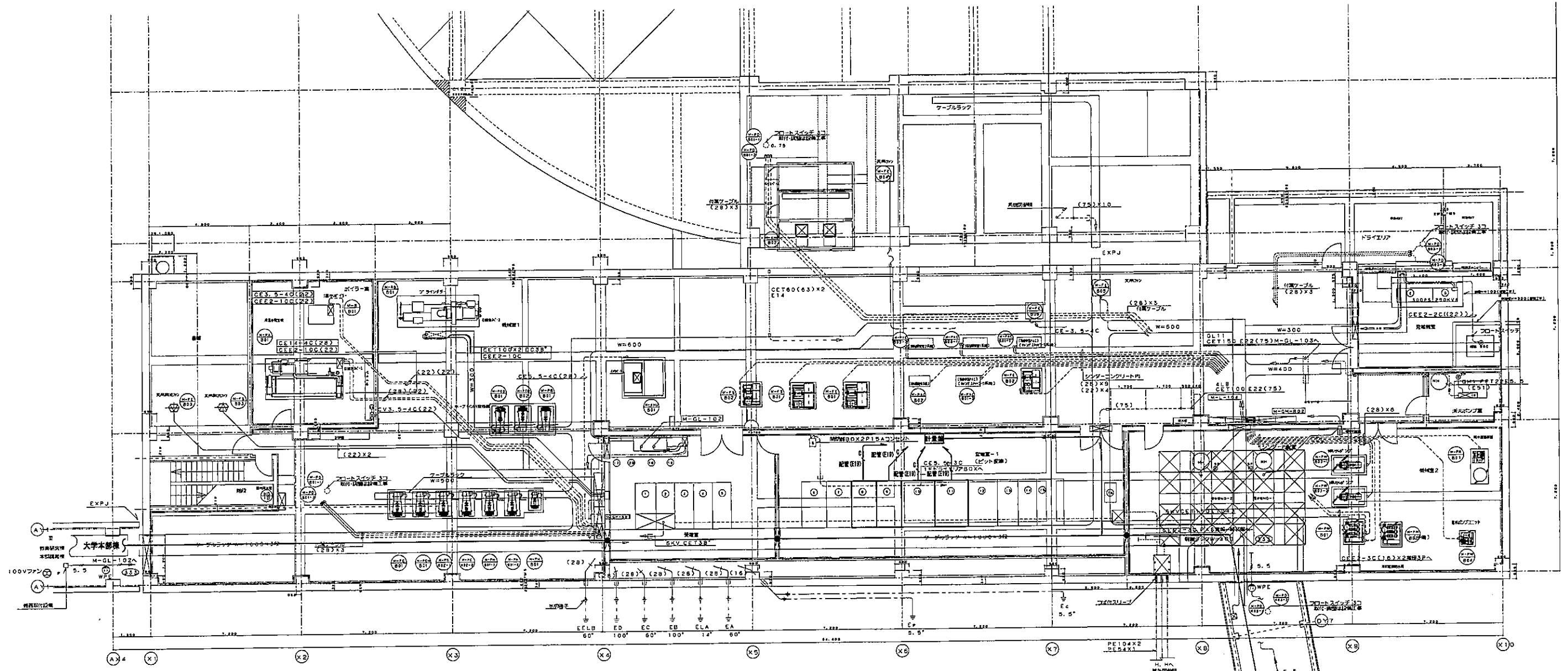


学生センター棟 [字1-1] より  
学生センター棟 [字1-4] より  
情報メディアセンター棟  
[字1-2] へ

受付  
25.2.28  
大井建設株式会社

	株式会社 NTTファシリティーズ	一級建築士登録 第 271087 号 山本 寛作	担当	特記	工事名	図面番号	区分
	一級建築士事務所 中国支店 広島県知事登録 22 (1) 第 2404号	建築設計士登録 15F1-0007YF 山根 英二	岩坂 優一 佐藤 慎彦	管理番号 4 JS-12-OJP-1	学生センター棟ZEB化改修工事 (BEMS制御)	B-014	電気
						縮尺	年月日
						(A1) 1/100 (A3) 1/200	2025年 2月 28日





記号	経路NO	機材名称	容量(kw)	ケーブル	備考
M-GM-B01	12M6 CET100	一次電源用 M-PC-B01	7.5	CEB-4C	
		NO.1二次電源用 M-PC-B02-1	1.5	CET22E8X2	
		NO.2二次電源用 M-PC-B02-2	1.5	CET22E8X2	
	12M7 CET100	電源用 M-B-B01	1.9	CE3.5-4C	
		一次電源用 M-B-B01-1	3.7	CE5.5-4C	
		二次電源用 M-B-B01-2	1.1	CET14E5.5X2	
		電源用 M-AHU-B01	2.2	CE5.5-4C	
		電源用 M-F-B01	0.25	CE3.5-4C	
		電源用 M-F-B02	0.13	CE3.5-4C	
	13M1 CET250	電源用 M-B-B01	1.9	CEB	
		電源用 M-F-B01	1.5	CET38X2	
	13M2 CET150	電源用 M-B-B01	1.9	CEB	
		電源用 M-F-B01	1.5	CET38X2	
	1GM5 CET150	電源用 M-B-B01	9.0	CE14-4C	
		電源用 M-B-B01	3.0	CEB	
電源用 M-B-B01		7.5	CE14-4C		
電源用 M-B-B01-1		3.75	ケーブル		
電源用 M-B-B01-2		3.75	ケーブル		
電源用 M-B-B01-2		0.2	CE3.5-4C		
電源用 M-B-B01-2		0.2	CE3.5-4C		

記号	経路NO	機材名称	容量(kw)	ケーブル	備考	
M-GM-B02	12M9 CET200	電源用 M-F-B01	5.5	CE5.5-4C		
		電源用 M-F-B01	3.7	CE5.5-4C		
		電源用 M-F-B01	2.2	CE3.5-4C		
		電源用 M-F-B01	1.5	CE3.5-4C		
		電源用 M-F-B01	3.0	CET60X2	インバータ	
		電源用 M-F-B01	0.25	CE3.5-4C		
		1GM7 CET150X2	電源用 M-F-B01	3.7	CET14E5.5	
			電源用 M-F-B01	1.5	CE5.5-4C	
			電源用 M-F-B01	1.1	CE14-4CX2	
			電源用 M-F-B01	1.1	CE14-4CX2	
			電源用 M-F-B01	0.75	ケーブル	
			電源用 M-F-B01	1.1	CE3.5-4C	
			電源用 M-F-B01	0.75	ケーブル	
			電源用 M-F-B01	0.75	ケーブル	
			電源用 M-F-B01	3	CE5.5-4C	
電源用 M-F-B01	0.75		ケーブル(CE3.5-4C)			
1GM6 CET200	電源用 M-F-B01	7.34	CE14-4C			
	電源用 M-F-B01	7.34	CE14-4C			
	電源用 M-F-B01	0.13	CE3.5-4C			
	電源用 M-F-B01	4.68	CEB-4C			
	電源用 M-F-B01	7.34	CE14-4C			
	電源用 M-F-B01	7.34	CE14-4C			
	電源用 M-F-B01	0.13	CE3.5-4C			
	電源用 M-F-B01	0.13	CE3.5-4C			
	電源用 M-F-B01	0.13	CE3.5-4C			
	電源用 M-F-B01	0.13	CE3.5-4C			

NO	記号	機材名称	備考
1	高圧受電盤	VCTスペース	
2	高圧フィーダー盤NO-1	2段	
3	高圧フィーダー盤NO-2	2段	
4	高圧コンデンサ盤NO-1	2段	
5	高圧コンデンサ盤NO-2	2段	
6	NO-1 磁気盤		
7	NO-2 磁気盤		
8	NO-3 磁気盤		
9	NO-4 磁気盤		
10	NO-1 動力盤		
11	NO-2 動力盤		
12	非常動力盤		
13	非常動力盤		
14	蓄電池受電盤	VCTスペース	
15	蓄電池受電盤	440V	
16	ソーラー熱媒体系盤	太陽光発電設備	
17	接地端子盤	下部ダクト付	
18	蓄電池盤	蓄電池設備	
19	DGP盤	中央監視設備	
20	WHM盤	CT-WHスペース	

凡例

記号	機材名称
—A—	EH-UT4P (CAT5e)
—B—	EH-FRPEE 1.2-3P
—C—	CYケーブル(専用種) EH-FRPEE 1.2-3P

※注記

1. 特記なき配線は以下とする。

2. ●は防火区画処理を示す。

交付  
25.2.28  
NTTファシリティーズ